

YMアセット・ オーストラリア 好配当資産ファンド

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	2017年9月15日から、2044年9月20日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ) ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）の受益証券
運用方法	①主として、オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）の受益証券を通じて、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざします。 なお、リアルアセット関連有価証券とは、以下の有価証券をいいます。 イ) リート ロ) 上場インフラファンド ハ) リアルアセットを保有または運営する企業の株式 ※1「リアルアセット」とは、使用料や賃料等のキャッシュフローを生み出すインフラ関連施設や不動産等の実物資産をさします。 ※2ニュージーランドのリアルアセット関連有価証券にも投資することがあります。 ②オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）では、配当の成長性および継続性、利益成長性、収益基盤の安定性等に着目し投資を行ないます。 ③オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行ないません。 ④この投資信託は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）とダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続した分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

運用報告書（全体版）

第34期（決算日 2026年3月23日）
第35期（決算日 2026年6月22日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド 愛称：トリプル維新（リアルオーギー）」は、このたび、第35期の決算を行ないました。

ここに、第34期、第35期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

YMfg | ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号
お問い合わせ先 083-223-7124
（営業日の9:00～17:00）
ホームページ <https://www.ymam.co.jp/>

最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率		
	円	円	%		%		%	%	百万円
第26期末(2024年 3 月21日)	13,527	100	8.3	19,151	6.9	18,850	15.0	99.0	2,078
第27期末(2024年 6 月20日)	14,226	100	5.9	20,980	9.5	20,717	9.9	99.0	1,954
第28期末(2024年 9 月20日)	14,638	100	3.6	20,505	△ 2.3	21,576	4.1	99.1	1,953
第29期末(2024年12月20日)	13,704	100	△ 5.7	20,902	1.9	20,461	△ 5.2	98.9	1,741
第30期末(2025年 3 月21日)	13,092	100	△ 3.7	19,778	△ 5.4	19,227	△ 6.0	98.9	1,603
第31期末(2025年 6 月20日)	13,920	150	7.5	21,314	7.8	21,019	9.3	99.0	1,637
第32期末(2025年 9 月22日)	15,351	150	11.4	22,987	7.8	23,125	10.0	99.2	1,782
第33期末(2025年12月22日)	15,583	150	2.5	23,893	3.9	22,993	△ 0.6	99.3	1,770
第34期末(2026年 3 月23日)	14,950	150	△ 3.1	26,543	11.1	22,322	△ 2.9	99.2	1,693
第35期末(2026年 6 月22日)	15,987	150	7.9	27,614	4.0	24,831	11.2	99.3	1,803

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）は S & P / A S X 200指数（配当込み、オーストラリア・ドルベース）をもとに、S & P オーストラリア R E I T 指数（配当込み、円換算ベース）は S & P オーストラリア R E I T 指数（配当込み、オーストラリア・ドルベース）をもとにワイエムアセットマネジメントが円換算し、当ファンド設定日を10,000として計算したものです。S & P / A S X 200指数（配当込み、オーストラリア・ドルベース）および S & P オーストラリア R E I T 指数（配当込み、オーストラリア・ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

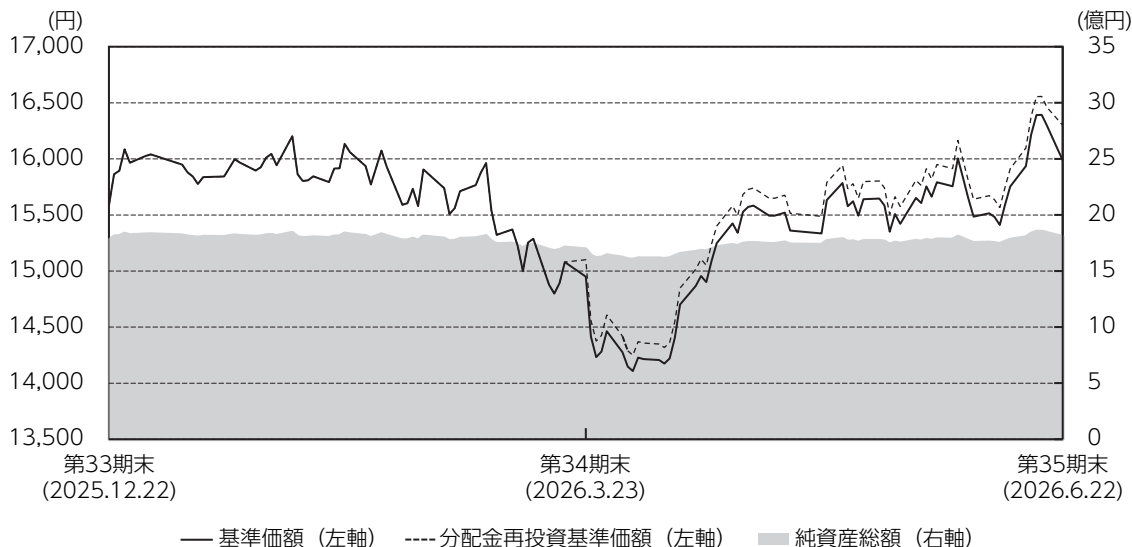
当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
第34期	(期 首) 2025年12月22日	円	%		%		%	%
		15,583	－	23,893	－	22,993	－	99.3
	12月末	16,039	2.9	24,834	3.9	24,222	5.3	99.1
	2026年 1 月末	15,844	1.7	25,994	8.8	23,978	4.3	99.2
	2 月末	15,711	0.8	27,517	15.2	23,547	2.4	99.3
第35期	(期 末) 2026年 3 月23日	15,100	△ 3.1	26,543	11.1	22,322	△ 2.9	99.2
	(期 首) 2026年 3 月23日	14,950	－	26,543	－	22,322	－	99.2
	3 月末	14,147	△ 5.4	25,455	△ 4.1	20,887	△ 6.4	99.1
	4 月末	15,520	3.8	27,466	3.5	23,739	6.3	99.2
	5 月末	15,791	5.6	27,191	2.4	24,083	7.9	99.2
	(期 末) 2026年 6 月22日	16,137	7.9	27,614	4.0	24,831	11.2	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

運用経過

基準価額等の推移について



（注1） 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2） 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第34期首：15,583円

第35期末：15,987円（既払分配金300円）

騰 落 率：4.6％（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が下落したことがマイナスに働きましたが、為替相場において豪ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働き、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

投資環境について

○オーストラリア・リアルアセット（※）市況

当作成期首から2026年1月にかけて、雇用統計が堅調であったことや、C P I（消費者物価指数）がR B A（オーストラリア準備銀行）の予想を上回ったことなどから、利上げ観測が高まる中で、軟調に推移しました。2月は、R B Aにより政策金利の引き上げが行われたことに加え、月次C P Iでインフレの加速が示されたことなどから、さらなる利上げへの懸念が重しとなり、下落しました。3月は、アメリカ・イスラエル両軍によるイラン攻撃開始を受けて、中東情勢に対する緊張が高まり、下落しました。特に原油価格の上昇を受けて、将来的なインフレ圧力の高まりおよび金利上昇への懸念が高まり、金利動向に敏感なリートを中心に下落しました。4月から当作成期末にかけては、中東情勢を巡る地政学リスクへの懸念が後退し、上昇しました。特にA I（人工知能）関連投資の恩恵を受けるデータセンター銘柄などが、好調な受注動向などを背景に上昇しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替市況

当作成期首から2026年3月半ばにかけて、R B A（オーストラリア準備銀行）の想定を上回るC P I（消費者物価指数）などを背景に政策金利の引き上げが行われたことなどを受け、上昇しました。3月後半は、地政学リスクの高まりなどをを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、豪ドルは対円で下落（円高）傾向となりました。4月から当作成期末にかけては、中東情勢を巡る地政学リスクへの懸念が後退し、豪ドルは対円で上昇傾向となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）とダイワ・マネーポートフォリオ（F O F s 用）（適格機関投資家専用）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券を高位に組み入れました。

○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

大規模ショッピングモールをオーストラリア全土で運営するSCENTRE GROUP（不動産）、オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、住宅施設やショッピングモール、物流施設を保有するSTOCKLAND（不動産）、水力や地熱発電などの再生可能エネルギーに強みがあるニュージーランドの大手発電企業CONTACT ENERGY（公益事業）などを高位に組み入れました。

○ダイワ・マネーポートフォリオ（F O F s 用）（適格機関投資家専用）

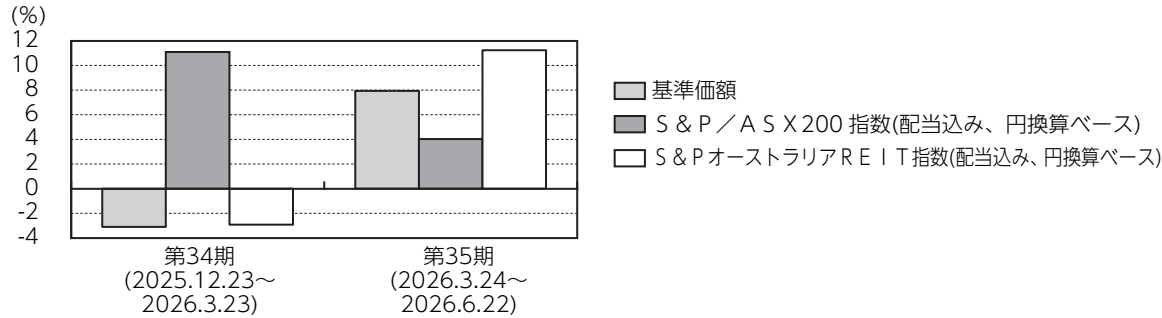
流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）およびS & P オーストラリア R E I T 指数（配当込み、円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

分配金について

1 万口当り分配金（税込み）は第34期・第35期ともに150円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1 万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1 万口当り）

項 目	第34期	第35期
	2025年12月23日 ～2026年3月23日	2026年3月24日 ～2026年6月22日
当期分配金（税込み）（円）	150	150
対基準価額比率（％）	0.99	0.93
当期の収益（円）	140	150
当期の収益以外（円）	9	－
翌期繰越分配対象額（円）	6,268	6,683

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1 万口当り）

項 目	第34期	第35期
(a) 経費控除後の配当等収益	140.63円	127.08円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	437.95
(c) 収益調整金	2,077.56	2,133.10
(d) 分配準備積立金	4,199.87	4,135.22
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	6,418.06	6,833.35
(f) 分配金	150.00	150.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	6,268.06	6,683.35

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

○当ファンド

オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

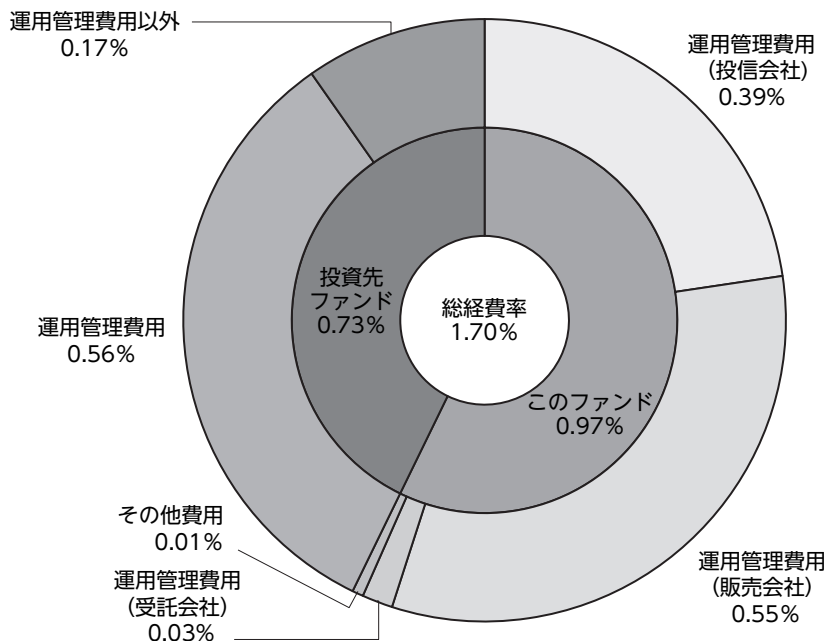
項 目	第34期～第35期		項 目 の 概 要
	(2025年12月23日～2026年6月22日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	74円	0.480%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は15,510円です。
（投信会社）	(30)	(0.192)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(43)	(0.274)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	75	0.485	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

参考情報

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



総経費率 (①+②+③)	1.70%
①このファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.17%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2025年12月23日から2026年6月22日まで)

決 算 期		第 34 期 ～ 第 35 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国		千口	千円	千口	千円
	オーストラリア・リアル アセット・ファンド (適格機関投資家専用)	41,481.18	53,000	57,207.553	73,000
内	ダイワ・マネーポート フォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	-	-	-	-

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
国内投資信託受益証券

銘 柄		第 35 期 末		
		口 数	評 価 額	比 率
		千口	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・ ファンド (適格機関投資家専用)		1,340,784.892	1,788,741	
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)		1,103.11	1,097	
合 計	金 額	1,341,888.002	1,789,838	
	銘柄数<比率>	2銘柄		<99.3%>

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2026年6月22日現在

項 目	第 35 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,789,838	98.0
コール・ローン等、その他	36,799	2.0
投資信託財産総額	1,826,637	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年3月23日)、(2026年6月22日)現在

項 目	第 34 期 末	第 35 期 末
(A) 資産	1,716,426,546円	1,826,637,689円
コール・ローン等	18,059,770	16,799,302
投資信託受益証券(評価額)	1,679,366,776	1,789,838,387
未収入金	19,000,000	20,000,000
(B) 負債	22,774,381	23,555,368
未払収益分配金	16,992,868	16,917,136
未払解約金	1,437,110	2,443,359
未払信託報酬	4,295,362	4,147,519
その他未払費用	49,041	47,354
(C) 純資産総額(A - B)	1,693,652,165	1,803,082,321
元本	1,132,857,919	1,127,809,077
次期繰越損益金	560,794,246	675,273,244
(D) 受益権総口数	1,132,857,919口	1,127,809,077口
1万口当り基準価額(C/D)	14,950円	15,987円

(注) 元本状況
期首元本額 1,136,206,202円 1,132,857,919円
追加設定元本額 7,928,745円 14,992,158円
一部解約元本額 11,277,028円 20,041,000円

■損益の状況

第34期 自 2025年12月23日 至 2026年3月23日
第35期 自 2026年3月24日 至 2026年6月22日

項 目	第 34 期	第 35 期
(A) 配当等収益	20,276,848円	14,784,748円
受取配当金	20,246,613	14,755,342
受取利息	30,235	29,406
(B) 有価証券売買損益	△ 70,733,843	122,624,935
売買益	359,714	123,452,907
売買損	△ 71,093,557	△ 827,972
(C) 信託報酬等	△ 4,344,403	△ 4,194,873
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 54,801,398	133,214,810
(E) 前期繰越損益金	475,785,449	396,883,678
(F) 追加信託差損益金	156,803,063	162,091,892
(配当等相当額)	(235,357,613)	(240,572,778)
(売買損益相当額)	(△ 78,554,550)	(△ 78,480,886)
(G) 合計(D + E + F)	577,787,114	692,190,380
(H) 収益分配金	△ 16,992,868	△ 16,917,136
次期繰越損益金(G + H)	560,794,246	675,273,244
追加信託差損益金	156,803,063	162,091,892
(配当等相当額)	(235,357,613)	(240,572,778)
(売買損益相当額)	(△ 78,554,550)	(△ 78,480,886)
分配準備積立金	474,725,026	513,181,352
繰越損益金	△ 70,733,843	-

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 34 期	第 35 期
(a) 経費控除後の配当等収益	15,932,445円	14,333,380円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	49,392,024円
(c) 収益調整金	235,357,613円	240,572,778円
(d) 分配準備積立金	475,785,449円	466,373,084円
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	727,075,507円	770,671,266円
(f) 1 万口当り当期分配対象額	6,418.06円	6,833.35円
(g) 分配金	16,992,868円	16,917,136円
(h) 1 万口当り分配金	150円	150円

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 34 期	第 35 期
1 万口当り分配金（税引前）	150円	150円

<課税上の取り扱いについて>
・ 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
・ 受益者は普通分配金に対し課税されます。
・ 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドは一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。
ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。当ファンドはNISAの成長投資枠（特定非課税管理勘定）の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。

お知らせ

○該当事項はありません。

オーストラリア・
リアルアセット・
ファンド
(適格機関投資家専用)

運用報告書（全体版）

第34期（決算日 2026年2月16日）

第35期（決算日 2026年5月15日）

（作成対象期間 2025年11月18日～2026年5月15日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	無期限（設定日：2017年8月3日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの受益証券
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	イ．オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ．オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ハ．オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を全額分配し、売買益等は基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、円換算)		S & P オーストラリア R E I T 指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資証券 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率				
	円	円	%		%		%	%	%	%	百万円
26期末 (2024年 2 月15日)	11,265	510	10.4	18,580	7.9	16,754	15.9	14.6	—	83.4	1,911
27期末 (2024年 5 月15日)	11,965	330	9.1	20,534	10.5	19,081	13.9	17.4	—	81.7	1,878
28期末 (2024年 8 月15日)	11,567	110	△ 2.4	19,578	△ 4.7	18,880	△ 1.1	18.0	—	80.3	1,793
29期末 (2024年11月15日)	12,350	350	9.8	21,670	10.7	20,602	9.1	17.1	—	82.2	1,829
30期末 (2025年 2 月17日)	11,844	80	△ 3.4	21,552	△ 0.5	19,831	△ 3.7	17.1	—	81.5	1,718
31期末 (2025年 5 月15日)	11,629	100	△ 1.0	20,607	△ 4.4	18,731	△ 5.5	16.9	—	82.2	1,632
32期末 (2025年 8 月15日)	12,352	250	8.4	22,571	9.5	21,088	12.6	16.6	—	81.9	1,685
33期末 (2025年11月17日)	12,572	330	4.5	23,414	3.7	20,884	△ 1.0	16.7	—	82.4	1,696
34期末 (2026年 2 月16日)	12,840	150	3.3	25,994	11.0	22,032	5.5	17.7	—	80.9	1,738
35期末 (2026年 5 月15日)	12,922	110	1.5	26,894	3.5	22,248	1.0	20.7	—	76.9	1,739

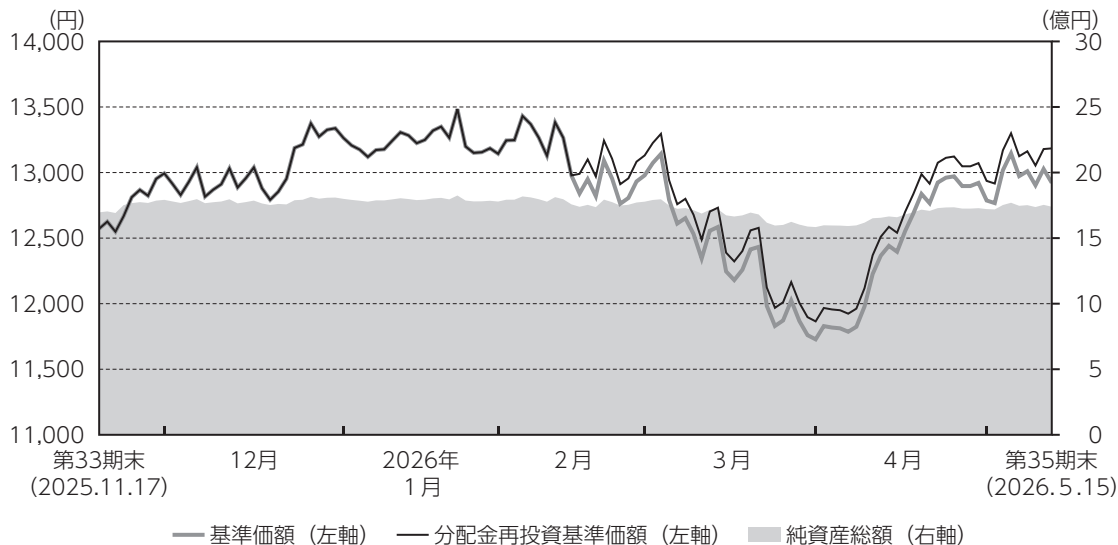
- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注 3) S & P オーストラリア R E I T 指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P オーストラリア R E I T 指数 (税引後配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注 4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 6) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 7) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P / A S X 200 指数および S & P オーストラリア R E I T 指数（「当インデックス」）は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S&P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および C D X[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- *分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- *分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第34期首：12,572円

第35期末：12,922円（既払分配金260円）

騰落率：4.9%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が下落したことはマイナスに働きましたが、為替相場において豪ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働き、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、円換算)		S&PオーストラリアREIT指数 (税引後配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第34期	(期首)2025年11月17日	円 12,572	% －	23,414	% －	20,884	% －	% 16.7	% －	% 82.4
	11月末	12,994	3.4	23,699	1.2	21,484	2.9	15.9	－	81.2
	12月末	13,264	5.5	24,577	5.0	22,380	7.2	16.6	－	82.2
	2026年 1 月末	13,143	4.5	25,921	10.7	22,264	6.6	17.0	－	81.1
	(期末)2026年 2 月16日	12,990	3.3	25,994	11.0	22,032	5.5	17.7	－	80.9
第35期	(期首)2026年 2 月16日	12,840	－	25,994	－	22,032	－	17.7	－	80.9
	2 月末	12,979	1.1	27,388	5.4	21,964	△ 0.3	17.1	－	80.0
	3 月末	11,728	△8.7	25,218	△ 3.0	19,288	△12.5	18.8	－	79.3
	4 月末	12,787	△0.4	26,981	3.8	21,716	△ 1.4	18.6	－	77.9
	(期末)2026年 5 月15日	13,032	1.5	26,894	3.5	22,248	1.0	20.7	－	76.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025.11.18～2026.5.15)

■オーストラリア・リアルアセット（※）市況

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄は下落しました。

オーストラリア・リアルアセット市況は、当作成期首から2026年1月にかけて、おおむね横ばいでの推移となりました。2月は、RBA（オーストラリア準備銀行）により政策金利の引き上げが行われたことに加え、月次CPI（消費者物価指数）でインフレの加速が示されたことなどから、さらなる利上げへの懸念が重しとなり、下落しました。3月は、米国・イスラエル両軍によるイラン攻撃開始を受けて、中東情勢に対する緊張が高まり、下落しました。特に原油価格の上昇を受けて、将来的なインフレ圧力の高まりおよび金利上昇への懸念が高まり、金利動向に敏感なリートを中心に下落しました。4月から当作成期末にかけては、中東情勢をめぐる地政学リスクへの懸念が後退し、上昇しました。特にAI（人工知能）関連投資の恩恵を受けるデータセンター銘柄などが、好調な受注動向などを背景に上昇しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇（円安）しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首から2026年3月半ばにかけて、RBA（オーストラリア準備銀行）の想定を上回るCPI（消費者物価指数）などを背景に政策金利の引き上げが行われたことなどを受け、上昇しました。3月後半は、地政学リスクの高まりなどをを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、豪ドルは対円で下落（円高）傾向となりました。4月から当作成期末にかけては、中東情勢をめぐる地政学リスクへの懸念が後退し、豪ドルは対円で上昇傾向となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

ポートフォリオについて

(2025.11.18～2026.5.15)

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

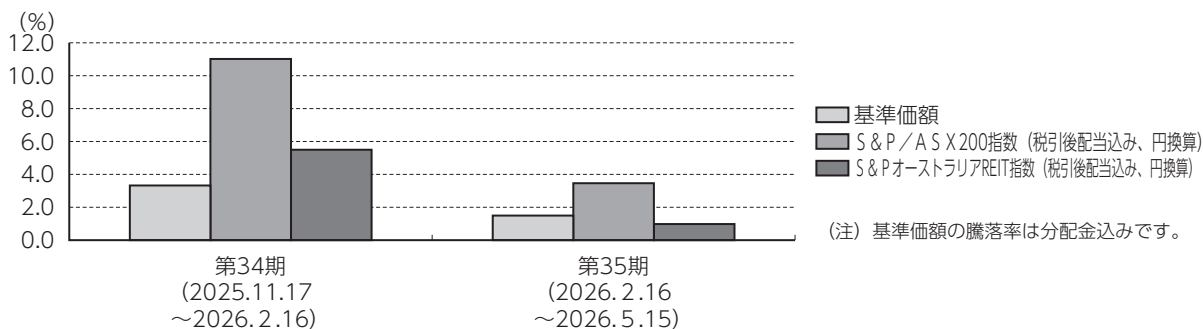
■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

大規模ショッピングモールをオーストラリア全土で運営するSCENTRE GROUP（不動産）、オーストラリアだけでなく世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、住宅施設やショッピングモール、物流施設を保有するSTOCKLAND（不動産）、水力や地熱発電などの再生可能エネルギーに強みがあるニュージーランドの大手発電企業CONTACT ENERGY（公益事業）などを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配金資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第34期	第35期
	2025年11月18日 ～2026年2月16日	2026年2月17日 ～2026年5月15日
当期分配金（税込み）（円）	150	110
対基準価額比率（％）	1.15	0.84
当期の収益（円）	90	90
当期の収益以外（円）	60	20
翌期繰越分配対象額（円）	3,125	3,209

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第34期	第35期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 111.64円	✓ 104.98円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	305.53	88.25
(c) 収益調整金	1,190.02	1,228.28
(d) 分配準備積立金	✓ 1,668.04	✓ 1,897.52
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,275.24	3,319.05
(f) 分配金	150.00	110.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,125.24	3,209.05

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第34期～第35期 (2025.11.18～2026.5.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	36円	0.278%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,819円です。
(投 信 会 社)	(33)	(0.259)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.005)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0.018	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 証 券)	(2)	(0.018)	
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	11	0.082	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.025)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(7)	(0.055)	配当金の再投資に係る税金支払い、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	48	0.378	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2025年11月18日から2026年5月15日まで)

決 算 期	第 34 期 ～ 第 35 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	31,831	80,323	49,073	124,309

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第33期末	第 35 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	685,981	668,739	1,736,181

(注) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年5月15日現在

項 目	第 35 期 末	評 価 額	比 率
	千円		%
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	1,736,181		98.8
コール・ローン等、その他	20,494		1.2
投資信託財産総額	1,756,675		100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月15日における邦貨換算レートは、1 オーストラリア・ドル=114.19円、1 ニュージーランド・ドル=93.39円です。

(注3) オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドにおいて、第35期末における外貨建純資産（1,747,998千円）の投資信託財産総額（1,754,807千円）に対する比率は、99.6％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年2月16日)、(2026年5月15日)現在

項 目	第 34 期 末	第 35 期 末
(A) 資産	1,761,768,130円	1,756,675,967円
コール・ローン等	26,130,953	20,494,234
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド(評価額)	1,735,637,177	1,736,181,733
(B) 負債	22,857,373	17,176,475
未払収益分配金	20,313,835	14,807,613
未払信託報酬	2,519,122	2,321,950
その他未払費用	24,416	46,912
(C) 純資産総額(A－B)	1,738,910,757	1,739,499,492
元本	1,354,255,688	1,346,146,673
次期繰越損益金	384,655,069	393,352,819
(D) 受益権総口数	1,354,255,688□	1,346,146,673□
1万口当り基準価額(C/□D)	12,840円	12,922円

* 当作成期首における元本額は1,349,415,809円、当作成期間（第34期～第35期）中における追加設定元本額は64,734,715円、同解約元本額は68,003,851円です。

* 第35期末の計算口数当りの純資産額は12,922円です。

■損益の状況

第34期 自2025年11月18日 至2026年2月16日
第35期 自2026年2月17日 至2026年5月15日

項 目	第 34 期	第 35 期
(A) 配当等収益	7,873円	8,029円
受取利息	7,873	8,029
(B) 有価証券売買損益	59,032,274	28,349,686
売買益	60,225,604	30,097,188
売買損	△ 1,193,330	△ 1,747,502
(C) 信託報酬等	△ 2,543,538	△ 2,344,446
(D) 当期損益金(A + B + C)	56,496,609	26,013,269
(E) 前期繰越損益金	225,895,398	255,434,525
(F) 追加信託差損益金	122,576,897	126,712,638
(配当等相当額)	(161,159,491)	(165,345,147)
(売買損益相当額)	(△ 38,582,594)	(△ 38,632,509)
(G) 合計(D + E + F)	404,968,904	408,160,432
(H) 収益分配金	△ 20,313,835	△ 14,807,613
次期繰越損益金(G + H)	384,655,069	393,352,819
追加信託差損益金	122,576,897	126,712,638
(配当等相当額)	(161,159,491)	(165,345,147)
(売買損益相当額)	(△ 38,582,594)	(△ 38,632,509)
分配準備積立金	262,078,172	266,640,181

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 34 期	第 35 期
(a) 経費控除後の配当等収益	15,119,159円	14,132,535円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	41,377,450	11,880,734
(c) 収益調整金	161,159,491	165,345,147
(d) 分配準備積立金	225,895,398	255,434,525
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	443,551,498	446,792,941
(f) 分配金	20,313,835	14,807,613
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	423,237,663	431,985,328
(h) 受益権総口数	1,354,255,688口	1,346,146,673口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 34 期	第 35 期
1万口当り分配金 (税込み)	150円	110円

<補足情報>

当ファンド（オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の決算日（2026年2月3日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第35期の決算日（2026年5月15日）現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
投資証券

(2025年11月18日から2026年5月15日まで)

買				付				売				付			
銘柄	柄	口数	金額	平均単価	銘柄	柄	口数	金額	平均単価	銘柄	柄	口数	金額	平均単価	銘柄
CENTURIA CAPITAL STAPLED UNITS (オーストラリア)		千口	千円	円	NATIONAL STORAGE REIT STAPLED UNIT (REIT) (オーストラリア)		千口	千円	円	GOODMAN GROUP UNITS (オーストラリア)		千口	千円	円	
GOODMAN GROUP UNITS (オーストラリア)		110	23,619	214	GOODMAN GROUP UNITS (オーストラリア)		270.275	82,547	305			2.5	8,598	3,439	
		6	18,702	3,117											

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2026年5月15日現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンド（675,924千口）の内容です。

(1) 外国株式

銘 柄	2026年5月15日現在				業 種 等
	株 数	評 価 額			
		外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	百株	千オーストラリア・ドル	千円		
HMC CAPITAL LTD	350	105	12,029	金融	
ORIGIN ENERGY LTD	80	93	10,642	公益事業	
SONIC HEALTHCARE LTD	30	55	6,340	ヘルスケア	
AGL ENERGY LTD	135	126	14,429	公益事業	
ATLAS ARTERIA STAPLED UNITS	167.28	79	9,111	資本財・サービス	
NEXTDC LTD	106.66	157	18,025	情報技術	
オーストラリア・ドル 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	868.94 6銘柄	618 70,579	< 4.0%>	
(ニュージーランド)	百株	千ニュージーランド・ドル	千円		
MERIDIAN ENERGY LTD	133.48	78	7,367	公益事業	
MERCURY NZ LTD	92.77	65	6,090	公益事業	
GENESIS ENERGY LTD	568.83	142	13,280	公益事業	
INFRATIL LTD	1,019.12	1,552	144,952	金融	
CONTACT ENERGY LTD	1,320.98	1,307	122,132	公益事業	
ニュージーランド・ドル 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	3,135.18 5銘柄	3,146 293,823	<16.7%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	4,004.12 11銘柄	— 364,403	<20.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、2026年5月15日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資証券

銘 柄	□ 数	2026年5月15日現在	
		評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千□	千オーストラリア・ドル	千円
DEXUS STAPLED UNITS	98	587	67,031
HEALTHCO HEALTHCARE & WELLNESS REI	50	33	3,853
ABACUS STORAGE KING UNITS	104.642	146	16,728
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTRUCTURE	115.277	289	33,040
CENTURIAIndustrY UNITS	60.517	176	20,178
RURAL FUND GROUP STAPLED UNITS	87.119	173	19,796
WAYPOINT REIT STAPLED UNIT LTD	29.831	70	8,039
CHARTER HALL LONG WALE REIT STAPLE (REIT)	94.747	325	37,217
CENTURIA OFFICE REIT UNITS	67.679	63	7,225
CENTURIA CAPITAL STAPLED UNITS	260.763	432	49,429
HOMEICO DAILY NEEDS UNITS	270.289	331	37,808
APA GROUP UNITS	13.485	143	16,414
REGION GROUP STAPLED UNITS LTD	184.115	414	47,304
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTRALIA R	37.919	81	9,309
DEXUS INDUSTRIA REIT STAPLED UNIT	37.348	90	10,320
SCENTRE GROUP UNIT (REIT)	399	1,460	166,756
ARENA REIT STAPLED UNITS	119.627	384	43,849
GPT GROUP STAPLED UNITS	210.7	992	113,321
CHARTER HALL RETAIL UNITS	32.557	122	13,978
MIRVAC GROUP STAPLED UNITS	369	630	72,052
STOCKLAND STAPLED UNITS LTD	262.973	1,041	118,914
ABACUS GROUP UNIT	80	82	9,363
GOODMAN GROUP UNITS	48.9	1,535	175,334
VICINITY CENTRES (REIT)	317.142	783	89,449
CHARTER HALL GROUP STAPLED UNITS	64	1,253	143,093
INGENIA COMMUNITIES GROUP STAPLED	30.658	116	13,303
オーストラリア・ドル 通 貨 計	□ 数、金 額 銘柄数<比率>	3,446.288 26銘柄	11,762 <76.5%>
(ニュージーランド)	千□	千ニュージーランド・ドル	千円
KIWI PROPERTY GROUP LTD (REIT)	58.972	53	5,039
GOODMAN NEW ZEALAND & GOODMAN PROP	21	41	3,843
ニュージーランド・ドル 通 貨 計	□ 数、金 額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	95 < 0.5%>
合 計	□ 数、金 額 銘柄数<比率>	3,526.26 28銘柄	— <77.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、2026年5月15日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

運用報告書 第19期（決算日 2026年2月3日）

（作成対象期間 2025年8月5日～2026年2月3日）

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

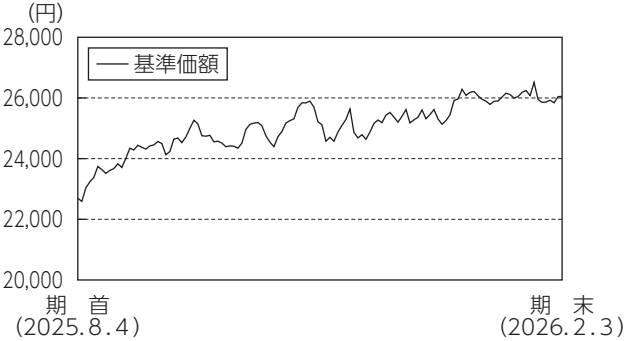
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のＤＲ
株 式 組 入 制 限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、円換算)		S & P オーストラリア R E I T 指数 (税引後配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	%	%	%
(期首)2025年 8 月 4 日	22,693	—	27,353	—	20,830	—	17.0	—	81.7
8 月末	24,420	7.6	28,589	4.5	22,211	6.6	15.4	—	81.4
9 月末	24,420	7.6	28,950	5.8	21,864	5.0	16.3	—	82.2
10 月末	25,214	11.1	29,971	9.6	22,578	8.4	16.6	—	82.3
11 月末	25,522	12.5	29,539	8.0	22,148	6.3	16.0	—	81.3
12 月末	26,068	14.9	30,634	12.0	23,071	10.8	16.7	—	82.3
2026年 1 月末	25,841	13.9	32,309	18.1	22,953	10.2	17.1	—	81.2
(期末)2026年 2 月 3 日	26,049	14.8	31,920	16.7	23,047	10.6	17.2	—	81.0

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注3) S & P オーストラリア R E I T 指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P オーストラリア R E I T 指数 (税引後配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：22,693円 期末：26,049円 騰落率：14.8%

【基準価額の主な変動要因】
オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄は下落しましたが、保有している銘柄が上昇したことや、為替相場においてオーストラリア・ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働き、基準価額は上昇しました。

◆ 投資環境について

○ オーストラリア・リアルアセット（※）市況
オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄は下落しました。
オーストラリア・リアルアセット市況は、当作成期首から2025年8月下旬にかけて、2025年上半期の決算内容および今後の業績見通しが堅調だった銘柄にけん引され、上昇しました。9月は、4－6月期のGDP（国内総生産）やCPI（消費者物価指数）が市場予想を上振れたことなどから、利下げ期待が後退し、軟調に推移しました。10月中旬にかけては、大手総合型リートが7－9月期の業績アップデートにおいて住宅事業の好調さを示したことや、長期金利の低下を背景に、堅調に推移しました。しかし12月中旬にかけては、CPIや雇用統計が市場予想を上回ったことにより追加利下げ期待が後退したことに加え、データセンター事業も手掛けている主要物流施設リートの7－9月期の業績アップデートが市場の期待に届かなかったことなどから、下落しました。12月末にかけては、同主要物流施設リートがヨーロッパでのデータセンター開発において、カナダの年金基金と提携したと発表したことから上昇し、市場をけん引しました。2026年1月から当作成期末にかけては、雇用統計が堅調であったことや、10－12月期のCPIがRBA（オーストラリア準備銀行）の予想を上回ったことなどから、利上げ観測が高まる中で、軟調に推移しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替相場

豪ドルは対円で上昇（円安）しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首から2025年8月下旬にかけて、RBA（オーストラリア準備銀行）の利下げが意識されたことが下落（円高）要因となった一方で、米中が双方への関税停止措置を延長したことなどが上昇圧力となり、対円で小幅な下落にとどまりました。9月から当作成期末にかけては、オーストラリアでは堅調な経済指標を受けて利下げ期待が後退し、今後の利上げ観測が高まったことや、日本では自民党総裁選の結果を受けて財政拡張や緩やかな金融環境の継続への期待などから投資家のリスク選好度が強まったことや、日本の衆議院解散総選挙後の積極財政推進への懸念などから、豪ドルは対円で上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

◆ポートフォリオについて

主として、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資しました。個別銘柄では、大規模ショッピングモールをオーストラリア全土で運営するSCENTRE GROUP（不動産）、住宅施設やショッピングモール、物流施設を保有するSTOCKLAND（不動産）、オーストラリアだけでなく世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リートの子会社のCHARTER HALL GROUP（不動産）などを高位に組み入れました。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (投資証券)	5円 (0) (5)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	18 (6) (12)
合 計	23

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2025年8月5日から2026年2月3日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 (350)	千オーストラリア・ドル (123)	百株 —	千オーストラリア・ドル —
	ニュージーランド	百株 (32.73)	千ニュージーランド・ドル (17)	百株 90	千ニュージーランド・ドル 58

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

(2025年8月5日から2026年2月3日まで)

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	オーストラリア	千口	千オーストラリア・ドル	千口	千オーストラリア・ドル
	DEXUS STAPLED UNITS	—	—	9	66
	HMC CAPITAL LTD	—	—	—	—
		(△ 35)	(△123)	—	—
	CHARTER HALL LONG WALE REIT STAPLE	—	—	—	—
		(1.379)	(5)	—	—
	CENTURIA CAPITAL STAPLED UNITS	70	135	—	—
	HOMECO DAILY NEEDS UNITS	—	—	80	109
	APA GROUP UNITS	—	—	—	—
		(0.463)	(3)	—	—
	NATIONAL STORAGE REIT STAPLED UNIT	—	—	117	323
		(6.183)	(14)	—	—
	SCENTRE GROUP UNIT	—	—	15	62
	ARENA REIT STAPLED UNITS	—	—	50	187
		(3.503)	(12)	—	—
		—	—	10	56
		—	—	66	151
		—	—	10	63
		6	178	—	—
		—	—	—	—
		(7.165)	(18)	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2025年8月5日から2026年2月3日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
						MERCURY NZ LTD (ニュージーランド)	9	5,227	580

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘 柄	株 数	株 数	期 末		業 種 等
			評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千円	千円	
HMC CAPITAL LTD	－	350	146	15,907	金融
ORIGIN ENERGY LTD	80	80	93	10,152	公益事業
SONIC HEALTHCARE LTD	30	30	68	7,416	ヘルスケア
AGL ENERGY LTD	135	135	123	13,369	公益事業
ATLAS ARTERIA STAPLED UNITS	167.28	167.28	80	8,763	貴金属・サービス
NEXTDC LTD	90	90	117	12,700	情報技術
オーストラリア・ドル 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	502.28 5銘柄	852.28 6銘柄	629 < 3.8%>	
(ニュージーランド)	百株	百株	千円	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	129.65	133.48	75	7,076	公益事業
MERCURY NZ LTD	178.26	92.77	59	5,561	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	469.56	486.83	119	11,217	公益事業
INFRAIL LTD	1,012	1,019.12	1,120	104,911	金融
CONTACT ENERGY LTD	1,294.96	1,294.96	1,227	114,991	公益事業
ニュージーランド・ドル 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	3,084.43 5銘柄	3,027.16 5銘柄	2,602 <13.4%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	3,586.71 10銘柄	3,879.44 11銘柄	－ <17.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資証券

銘柄	期首		期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千口	千円	千円
DEXUS STAPLED UNITS	107	98	654	71,008
HEALTHCO HEALTHCARE & WELLNESS REI	50	50	36	3,959
HMC CAPITAL LTD	35	－	－	－
ABACUS STORAGE KING UNITS	104.642	104.642	163	17,706
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTRUCTURE	115.277	115.277	333	36,136
CENTURIAIndustr UNITS	60.517	60.517	193	21,005
RURAL FUND GROUP STAPLED UNITS	87.119	87.119	178	19,372
WAYPOINT REIT STAPLED UNIT LTD	29.831	29.831	73	7,927
CHARTER HALL LONG WALE REIT STAPLE	91.882	93.261	360	39,148
CENTURIA OFFICE REIT UNITS	67.679	67.679	71	7,744
CENTURIA CAPITAL STAPLED UNITS	150.763	220.763	431	46,814
HOMEKO DAILY NEEDS UNITS	350.289	270.289	347	37,673
APA GROUP UNITS	12.607	13.07	117	12,702
REGION GROUP STAPLED UNITS LTD	184.115	184.115	425	46,132
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTRALIA R	37.919	37.919	86	9,336
NATIONAL STORAGE REIT STAPLED UNIT	264.092	153.275	424	46,053
DEXUS INDUSTRIA REIT STAPLED UNIT	37.348	37.348	95	10,370
SCENTRE GROUP UNIT	414	399	1,611	174,849
ARENA REIT STAPLED UNITS	162.829	116.332	417	45,300

銘 柄	期 首		期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千円	千円
GPT GROUP STAPLED UNITS	220.7	210.7	1,099	119,301
CHARTER HALL RETAIL UNITS	32.557	32.557	126	13,702
MIRVAC GROUP STAPLED UNITS	435	369	732	79,450
STOCKLAND STAPLED UNITS LTD	272.973	262.973	1,414	153,462
ABACUS GROUP UNIT	80	80	92	10,022
GOODMAN GROUP UNITS	45.4	51.4	1,577	171,107
VICINITY CENTRES	302	309.165	757	82,161
CHARTER HALL GROUP STAPLED UNITS	64	64	1,475	160,014
INGENIA COMMUNITIES GROUP STAPLED	30.658	30.658	145	15,762
オーストラリア・ドル 通 貨 計	口 数、 金 額 銘柄数 <比率>	3,846.197 28銘柄	3,548.89 27銘柄	13,443 <80.5%>
(ニュージーランド)	千口	千口	千円	千円
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	58.972	59	5,579
GOODMAN PROPERTY TRUST UNITS	21	21	40	3,747
ニュージーランド・ドル 通 貨 計	口 数、 金 額 銘柄数 <比率>	79.972 2銘柄	79.972 2銘柄	99 < 0.5%>
合 計	口 数、 金 額 銘柄数 <比率>	3,926.169 30銘柄	3,628.862 29銘柄	— <81.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2026年2月3日現在

項目	当期	
	評価額	比率
株式	千円 312,069	% 17.1
投資証券	1,467,557	80.3
コール・ローン等、その他	47,600	2.6
投資信託財産総額	1,827,227	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月3日における邦貨換算レートは、1 オーストラリア・ドル＝108.47円、1 ニュージーランド・ドル＝93.67円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（1,799,652千円）の投資信託財産総額（1,827,227千円）に対する比率は、98.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年2月3日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,827,227,867円
コール・ローン等	21,172,068
株式(評価額)	312,069,293
投資証券(評価額)	1,467,557,866
未収入金	16,425,772
未収配当金	10,002,868
(B) 負債	14,712,320
未払金	14,703,112
未払解約金	9,208
(C) 純資産総額(A－B)	1,812,515,547
元本	695,800,432
次期繰越損益金	1,116,715,115
(D) 受益権総口数	695,800,432口
1万口当り基準価額(C／D)	26,049円

* 期首における元本額は731,393,097円、当作成期間中における追加設定元本額は40,461,043円、同解約元本額は76,053,708円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用） 687,233,532円
オーストラリア・リアルアセット・ファンド 8,566,900円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は26,049円です。

■損益の状況

当期 自2025年8月5日 至2026年2月3日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	34,395,322円
受取配当金	34,265,859
受取利息	129,463
(B) 有価証券売買損益	209,395,182
売買益	267,163,056
売買損	△ 57,767,874
(C) その他費用	△ 1,245,712
(D) 当期損益金(A + B + C)	242,544,792
(E) 前期繰越損益金	928,392,962
(F) 解約差損益金	△ 112,752,182
(G) 追加信託差損益金	58,529,543
(H) 合計(D + E + F + G)	1,116,715,115
次期繰越損益金(H)	1,116,715,115

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

S & P / A S X 200指数およびS & P オーストラリア R E I T 指数（「当インデックス」）はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S&P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®]およびC D X[®]は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®]は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはS P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当マザーファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

ダイワ・マネー
ポートフォリオ
(FOFs用) (適格機関投資家専用)

運用報告書 (全体版)
第9期

(決算日 2025年12月9日)
(作成対象期間 2024年12月10日~2025年12月9日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券		
信託期間	無期限（設定日：2017年9月19日）		
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ない ます。		
主要投資対象	ベビーファンド	イ、ダイワ・マネーポートフォ リオ・マザーファンドの受益 証券 ロ、円建ての債券	
	ダイワ・マネー ポートフォリオ・ マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの 株式組入上限比率	純資産総額の 10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 （評価益を含みます。）等とし、原則として、配 当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等 収益等の額が少額の場合には、分配を行なわな いことがあります。		

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近 5 期の運用実績

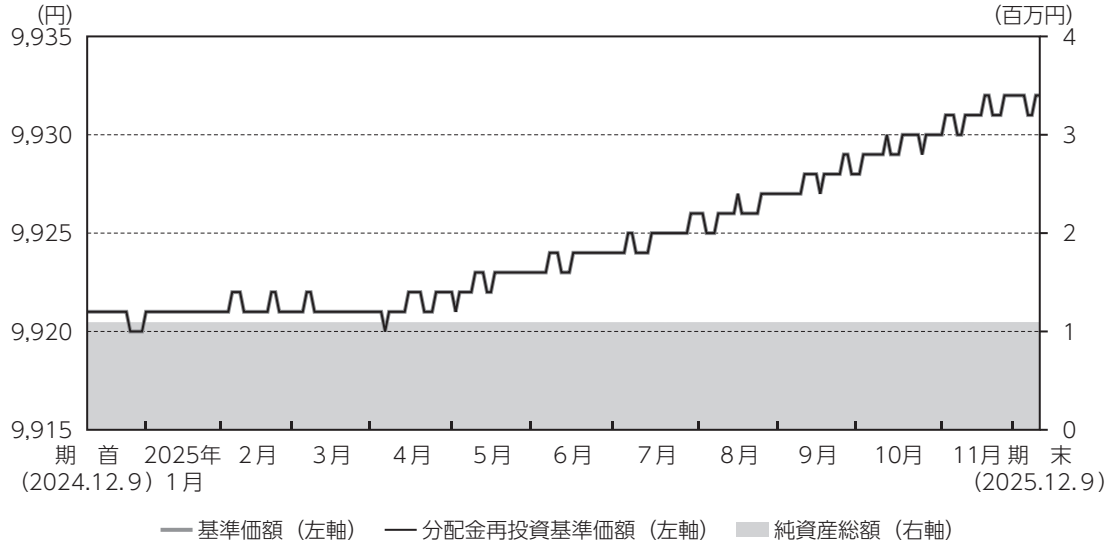
決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 み 期 中 率			公 社 債 率 組 入 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額 総
		税 分	込 配	み 金			
5 期末 (2021年12月 9 日)	円 9,937			円 0	% △0.1	% －	百万円 1
6 期末 (2022年12月 9 日)	9,930			0	△0.1	－	1
7 期末 (2023年12月11日)	9,923			0	△0.1	－	1
8 期末 (2024年12月 9 日)	9,921			0	△0.0	62.7	1
9 期末 (2025年12月 9 日)	9,932			0	0.1	61.1	1

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
(注 4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。
(注 5) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

■基準価額・騰落率

期首：9,921円

期末：9,932円（分配金0円）

騰落率：0.1%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

利息収入により、基準価額は上昇しました。

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	債 券 先 物 率
		騰 落 率		
(期首) 2024年12月9日	円 9,921	% －	% 62.7	% －
12月末	9,921	0.0	57.5	－
2025年 1 月末	9,921	0.0	71.5	－
2 月末	9,921	0.0	64.6	－
3 月末	9,921	0.0	59.7	－
4 月末	9,922	0.0	56.1	－
5 月末	9,923	0.0	67.8	－
6 月末	9,924	0.0	59.9	－
7 月末	9,926	0.1	61.0	－
8 月末	9,927	0.1	60.0	－
9 月末	9,928	0.1	65.8	－
10月末	9,930	0.1	71.4	－
11月末	9,932	0.1	57.7	－
(期末) 2025年12月9日	9,932	0.1	61.1	－

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024.12.10～2025.12.9)

■国内短期金融市況

日銀の利上げを受けて、短期金利は上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024.12.10～2025.12.9)

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が少額であったため、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年12月10日 ～2025年12月9日	
当期分配金（税込み）	（円）	－
対基準価額比率	（％）	－
当期の収益	（円）	－
当期の収益以外	（円）	－
翌期繰越分配対象額	（円）	11

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- （注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2024.12.10~2025.12.9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	21円	0.213%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,925円です。
(投 信 会 社)	(6)	(0.062)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(15)	(0.152)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.033	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(3)	(0.033)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	24	0.247	

- (注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	－	－	5	5

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

決 算 期	当 期					
区 分	買付額等		B／A	売付額等		D／C
	A	うち利害関係人との取引状況B		C	うち利害関係人との取引状況D	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	111,315	34,597	31.1	6,992	6,992	100.0
コール・ローン	3,266,092	－	－	－	－	－

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	1,089	1,084	1,090

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年12月9日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	1,090	99.4
コール・ローン等、その他	6	0.6
投資信託財産総額	1,097	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,097,080円
コール・ローン等	6,869
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	1,090,211
(B) 負債	1,464
未払信託報酬	1,281
その他未払費用	183
(C) 純資産総額(A－B)	1,095,616
元本	1,103,110
次期繰越損益金	△ 7,494
(D) 受益権総口数	1,103,110口
1万口当り基準価額(C／D)	9,932円

※期首における元本額は1,103,110円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

※当期末の計算口数当りの純資産額は9,932円です。

※当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は7,494円です。

■損益の状況

当期 自2024年12月10日 至2025年12月9日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	3,922円
売買益	3,922
(B) 信託報酬等	△2,704
(C) 当期損益金(A + B)	1,218
(D) 前期繰越損益金	△5,602
(E) 追加信託差損益金	△3,110
(売買損益相当額)	(△3,110)
(F) 合計(C + D + E)	△7,494
次期繰越損益金(F)	△7,494
追加信託差損益金	△3,110
(売買損益相当額)	(△3,110)
分配準備積立金	1,236
繰越損益金	△5,620

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,236円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,236
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,236
(h) 受益権総口数	1,103,110□

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第17期（決算日 2025年12月9日）

（作成対象期間 2024年12月10日～2025年12月9日）

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

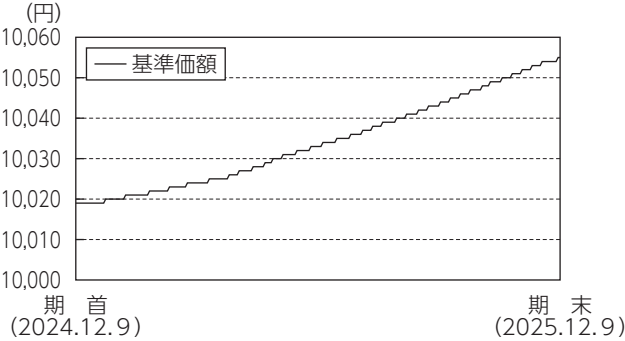
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2024年12月9日	10,019	—	62.9
12月末	10,020	0.0	57.6
2025年1月末	10,021	0.0	71.6
2月末	10,023	0.0	64.8
3月末	10,025	0.1	59.8
4月末	10,028	0.1	56.2
5月末	10,032	0.1	67.9
6月末	10,035	0.2	60.0
7月末	10,039	0.2	61.0
8月末	10,042	0.2	60.0
9月末	10,046	0.3	65.8
10月末	10,050	0.3	71.4
11月末	10,054	0.3	57.8
(期末)2025年12月9日	10,055	0.4	61.4

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：10,019円 期末：10,055円 騰落率：0.4%
【基準価額の主な変動要因】
利息収入により、基準価額は上昇しました。

◆ 投資環境について

○国内短期金融市況
日銀の利上げを受けて、短期金利は上昇しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 111,315,497	千円 6,992,426 (127,200,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

当			期		
買 付		金 額	売 付		金 額
銘 柄			銘 柄		
1277国庫短期証券	2025/3/31	千円 31,088,809	1344国庫短期証券	2026/2/24	千円 6,992,426
1296国庫短期証券	2025/6/30	22,780,118			
1325国庫短期証券	2025/11/17	20,677,312			
1306国庫短期証券	2025/8/18	19,989,400			
1344国庫短期証券	2026/2/24	16,779,856			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当 期			末			
区 分	額面金額	評 価 額	組入比率	うち88格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	9,800,000	9,790,567	61.4	—	—	—	61.4

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当 期			末		
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	1344国庫短期証券	—	9,800,000	9,790,567	2026/02/24

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年12月9日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
	千円	%	
公社債	9,790,567	61.4	
コール・ローン等、その他	6,156,857	38.6	
投資信託財産総額	15,947,424	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	15,947,424,800円
コール・ローン等	6,156,857,300
公社債(評価額)	9,790,567,500
(B) 負債	4,379,900
未払解約金	4,379,900
(C) 純資産総額(A－B)	15,943,044,900
元本	15,856,162,308
次期繰越損益金	86,882,592
(D) 受益権総口数	15,856,162,308口
1万口当り基準価額(C／D)	10,055円

*期首における元本額は51,764,911,701円、当作成期間中における追加設定元本額は28,677,006,619円、同解約元本額は64,585,756,012円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ米ドル・ブルファンド（適格機関投資家専用） 53,058,966円
 ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用） 1,829,881,549円
 ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用） 1,084,248円
 ダイワJリートベア・ファンド（適格機関投資家専用） 347,542,829円
 米国国債プラス日本株式ファンド2021-01（部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用） 44,359,998円
 米国国債プラス日本株式ファンド2021-07（部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用） 51,809,589円
 ダイワ/バリュース・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス 9,976円
 オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース） 1,973円
 オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース） 1,973円
 オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定率分配コース） 1,973円
 オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース） 1,973円
 NYダウ・トリプル・レバレッジ 799,549,002円
 世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年1回決算型） 998円
 世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年2回決算型） 998円
 NASDAQ100 3倍ベア 307,024,261円
 ポーレン米国グロース株式ファンド（資産成長型） 998円
 ポーレン米国グロース株式ファンド（予想分配金提示型） 998円
 AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド（適格機関投資家専用） 5,092,876,184円
 ダイワJGBベア・ファンドⅡ（適格機関投資家専用） 7,289,276,819円
 ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド 2,417,017円
 ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン
 ド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型） 998円
 ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン
 ド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型） 998円
 ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファ
 ンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型） 998円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジなし/資産成長型） 999円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジあり/資産成長型） 999円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジなし/年4回決算型） 999円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジあり/年4回決算型） 999円
 マネーファンド（ラップ専用） 36,260,578円
 ダイワ米国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USトラיאングル - 992,418円

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,055円です。

■損益の状況

当期 自2024年12月10日 至2025年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	126,830,737円
受取利息	126,830,737
(B) 有価証券売買損益	△ 448,640
売買益	286
売買損	△ 448,926
(C) 当期損益金(A + B)	126,382,097
(D) 前期繰越損益金	97,235,029
(E) 解約差損益金	△222,140,815
(F) 追加信託差損益金	85,406,281
(G) 合計(C + D + E + F)	86,882,592
次期繰越損益金(G)	86,882,592

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。